

《決算の概要》

【連 結】

(単位：億円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益
25 年 3 月期第 2 四半期	8,443 (12.0%)	△126 (－ %)	△333 (－ %)	△368 (－ %)
24 年 3 月期第 2 四半期	7,538 (△9.9%)	△549 (－ %)	△728 (－ %)	△1,082 (－ %)

(注) パーセント表示は、対前年同期増減率

【個 別】

(単位：億円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益
25 年 3 月期第 2 四半期	7,562 (12.5%)	△53 (－ %)	△46 (－ %)	△84 (－ %)
24 年 3 月期第 2 四半期	6,719 (△12.5%)	△635 (－ %)	△790 (－ %)	△1,084 (－ %)

(注) パーセント表示は、対前年同期増減率

〈 主要諸元 〉

項 目	25 年 3 月期 第 2 四半期	24 年 3 月期 第 2 四半期
原 油 C I F 価 格 (ドル/バーレル)	114.0	113.9
為 替 レ ー ト (円/ドル)	79	80
原子力設備利用率 (%)	0.0	0.0

《販売電力量》

(単位：百万kWh)

	特定規模需要以外の需要			特定規模 需 要	合 計
	電 灯	電 力	計		
25 年 3 月期 第 2 四半期	10,976 (1.8%)	1,858 (2.2%)	12,834 (1.8%)	24,392 (9.5%)	37,226 (6.7%)
24 年 3 月期 第 2 四半期	10,785 (△11.4%)	1,818 (△14.2%)	12,603 (△11.8%)	22,283 (△16.9%)	34,886 (△15.1%)

(注) パーセント表示は、対前年同期増減率

《平成24年度業績予想》

平成24年度通期の業績予想については、今冬の電力需要や原子力発電所の運転再開見通しが不透明であることなどから「未定」としておりました。現時点においても不透明な状況は継続しておりますが、今般、当社原子力発電所の年度内停止などを前提とした場合の通期業績予想について算定しましたのでお知らせいたします。

連結業績予想における売上高は、当社において、東日本大震災からの復興に伴う販売電力量の増加などにより、1兆7,900億円程度（対前年度比6.2%増）となる見通しであります。

一方、震災以降、財務体質が急速に悪化している状況を踏まえ、人件費の削減や、修繕費および一般経費について、緊急的な支出抑制・繰延等により前年度から更に削減を図っているものの、火力燃料費や購入電力料の増加などにより、経常損益は、1,150億円程度の損失となる見通しであります。

また、当期純損益は、1,000億円程度の損失となる見通しであります。

＜平成25年3月期（平成24年度）通期業績予想＞

【連 結】

（単位：億円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想	—	—	—	—
今 回 発 表 予 想	17,900	△720	△1,150	△1,000
（参考）平成24年3月期	16,849	△1,420	△1,764	△2,319

【個 別】

（単位：億円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想	—	—	—	—
今 回 発 表 予 想	15,900	△500	△600	△480
（参考）平成24年3月期	14,722	△1,601	△1,842	△2,102

〈 主要諸元 〉

項 目	今 回
販 売 電 力 量（億kWh）	777 程度
原油C I F 価格（ドル／バーレル）	115 程度
為 替 レ ー ト（円／ドル）	80 程度
原 子 力 設 備 利 用 率（％）	0

《中間配当》

当社の第2四半期決算は、経常損益、四半期純損益ともに損失となりました。また、通期につきましても、大変厳しい決算となる見通しであります。

こうした状況を総合的に勘案した結果、平成24年度の中間配当につきましては、実施を見送らせていただくことといたしました。また、期末配当につきましても、実施は難しいものと考えております。

以 上